平常展のみどころ

天寿国繡帳

奈良・中宮寺
絹　羅・綾・平織　刺繍　縦88.8cm　横82.7cm
飛鳥時代（7世紀）
国宝

聖徳太子が死後往生したという「天寿国」の様子を表した帳の一部が残ったもの。平安時代に成立したとみられる聖徳太子の伝記『上宮聖徳法王帝説』によれば、太子の妃・橘大女郎が太子の死を悼み、死後転生したとされる浄土の有様を帳2張に表し、女官に刺繍させて作ったものであるという。同書によれば、原繡帳には亀形に4字を配したものが100箇あり、制作の経緯を述べた400字の銘文が記されていたらしい。その後繡帳は時代とともに痛み、室町時代の法隆寺の僧・聖誉が著した『聖徳太子伝暦』（聖徳太子の伝記）の注釈書『聖誉抄』によれば、鎌倉時代に中宮寺の尼僧・信如が法隆寺の蔵から原繡帳を発見し、これを譲り受けて模し、新繡帳を作ったという。その後さらに新繡帳も破損し、江戸時代に新旧両繡帳を修理し、一つの画面に任意に貼りまとめたのが現在の繡帳に当たると考えられる。

このように複雑な歴史を有する本品は、現在飛鳥時代の原繡帳の部分と鎌倉時代の模作の部分が混在しているが、紫羅の地にZ撚りの強撚糸の返し繡で表された色鮮やかな部分が当初で、紫綾及び白平絹の地に平繡主体で表されている部分が模作とみられる。当初の部分の方が色、刺繍ともによく遺っており、古代の技術の高さがうかがわれる。

なお、本品の当初の図様については、仏教に説かれる浄土を表したことは確からしいものの、阿弥陀浄土とする説、弥勒浄土とする説など諸説あって未だ結論をみていない。また当初の形状や使用法についても諸説があり、興味の尽きない問題を孕んでいる。

清水　健（当館研究員）
西新館　6月14日（土）～7月13日（日）
特集展示「繡仏と染織の美」

釈迦阿弥陀発遣来迎図

徳島・雲辺寺
絹本著色　縦131.8cm　横59.1cm
鎌倉時代（14世紀）
重要文化財

阿弥陀如来が菩薩衆とともに往生者を迎えに来るという光景は、死後に極楽浄土への往生を遂げたいと願う人々が生前から強く思い描いたものであり、浄土信仰が隆盛した中世には、そのイメージを具現化した来迎図の名品が数多く生み出された。とくに鎌倉時代に入ると、極楽浄土や阿弥陀来迎の様を観想する方法を具体的に説いた『観無量寿経』についての新しい解釈が試みられるようになり、それに伴って従来にない新しい形式の来迎図も様々に創出されていった。ここに紹介する釈迦阿弥陀発遣来迎図も、こうした過程で制作されたとみられる特色ある来迎図の一本である。

縦長の画面左半分には、阿弥陀如来およびこれに従う二十七人の菩薩たちの一団が、右下に配される檜皮葺の小堂内で合掌する人物のもとへ雲に乗って来迎する様を描く。右半分には、釈迦如来および文殊・普賢二菩薩の三尊が、小堂の上空に、阿弥陀と向かい合うように浮かぶ様が描かれている。往生者に対して娑婆世界から極楽浄土へ行くことを勧める釈迦と、極楽浄土から娑婆世界の往生者のもとへと来迎する阿弥陀を対峙させるという特色ある図様は、『観無量寿経』の注釈書をもとに考案されたのだろう。

小堂内の人物は尼僧の姿として描かれており、この絵の発願者が女性だったことを示唆している。切れ長の目と小さな口をもつ見目麗しい諸尊の表情や、精緻な截金文様を施した華やかな着衣の表現には、あるいは往生を願った女性信者の好みが反映されているのかもしれない。

谷口耕生（当館研究員）
西新館　6月14日（土）～7月13日（日）

開館予定（4月～6月）

■開館時間
午前9時30分～午後5時（4月25日以降の毎週金曜日は午後7時まで）
※いずれも入館は閉館の30分前まで

■休 館 日
月曜日（ただし4月28日と5月5日は開館し、5月7日㈬は休館）

観覧料金

平常展（特集展示を含む）・特別陳列

	一　般	高校・大学生	中学生以下
個　人	500円	250円	無料
団　体	400円	200円	

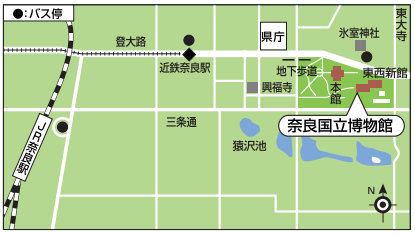
＊団体は責任者が引率する20名以上。

特別展「天馬ーシルクロードを翔ける夢の馬ー」

	一　般	高校・大学生	中学生以下
個　人	1,000円	700円	無料
団体・前売	900円	600円	

特別展「国宝 法隆寺金堂展」

	一　般	高校・大学生	小・中学生
個　人	1,200円	800円	500円
前　売	1,000円	600円	300円
団　体	900円	500円	200円



〔交通案内〕近鉄奈良駅下車徒歩15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車
※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等（有料）をご利用ください。

奈良国立博物館
Nara National Museum

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は90円切手を、角形2号の場合は120円切手を貼付してください。

〒630-8213 奈良市登大路町50（奈良公園内）　TEL. 0742-22-7771　FAX. 0742-22-7221　テレホン・サービス 0742-22-3331　ホームページ（URL）http://www.narahaku.go.jp/